

注 意 報

平成28年 8 月 25 日

各 関 係 機 関 の 長 様

広島県農林水産局長
(農 業 技 術 課)

平成28年度病害虫発生予察情報注意報第 2 号について (通知)

このことについて、次のとおり発表します。

平成28年度病害虫発生予察情報注意報第 2 号

平 成 2 8 年 8 月 2 5 日
広 島 県 農 林 水 産 局

【 作 物 名 】 キャベツ，アスパラガスなど野菜類，花き類及び大豆

【 病害虫名 】 ハスモンヨトウ

1 適用地域 県内全域

2 今後予想される発生量 多

3 防除時期 8月下旬～9月（ほ場で卵塊及び幼虫を確認したら直ちに防除する）

4 根 拠

- (1) 8月下旬の夏秋キャベツほ場調査では，過去平均に比べ卵塊数及び幼虫数が多く，注意報を発表した平成22年と同程度の発生であり，今後被害の増大が見込まれる（表1）。
- (2) 県内の大豆，野菜類のほ場に設置しているハスモンヨトウのフェロモントラップ調査において，8月上旬～中旬の累積誘殺数が平年の2.2～2.8倍であるため，今後幼虫による食害の増加が懸念される（表2，図1）。
- (3) 広島地方气象台発表の中国地方の1か月予報（8月18日発表）によると，期間のはじめは少雨の状態が続き，向こう1か月の平均気温は高い確率が80%と予想されており，ハスモンヨトウの発生に好適である。

表1 夏秋キャベツほ場調査結果

調査区分	調査年	卵塊数	幼虫数			幼虫寄生株率 (%)
			若齢	中老齢	計	
発生量 (個・頭)	本年	4.0	58.3	42.7	101.0	21.3
	過去平均	0.4	18.3	5.8	24.1	8.5
	平成22年 (注意報発表年)	1.0	65.2	21.3	86.5	25.3
発生地点率 (%)	本年	66.7	66.7	100	100	100
	過去平均	27.0	39.0	34.2	53.8	51.0
	平成22年 (注意報発表年)	66.7	66.7	100	100	100

注1 卵塊数及び幼虫数は25株当たりの数値

注2 過去平均は、平成27年及び平成25年～22年の調査結果の平均値（平成26年は調査未実施）

注3 本年は8月下旬調査、他の調査年は9月中旬調査

表2 県内のフェロモントラップにおけるハスモンヨトウ累積誘殺数 (単位：頭)

設置場所	作物名	8月上旬～中旬の累積誘殺数		
		本年 (①)	平年 (②)	平年比 (①/②)
福山市新市町	アスパラガス	400.3	181.6	2.2
三原市久井町	大豆	603.1	215.6	2.8
三次市布野町	アスパラガス	359.0	131.8	2.7
山県郡北広島町	トマト	765.0	309.7	2.5

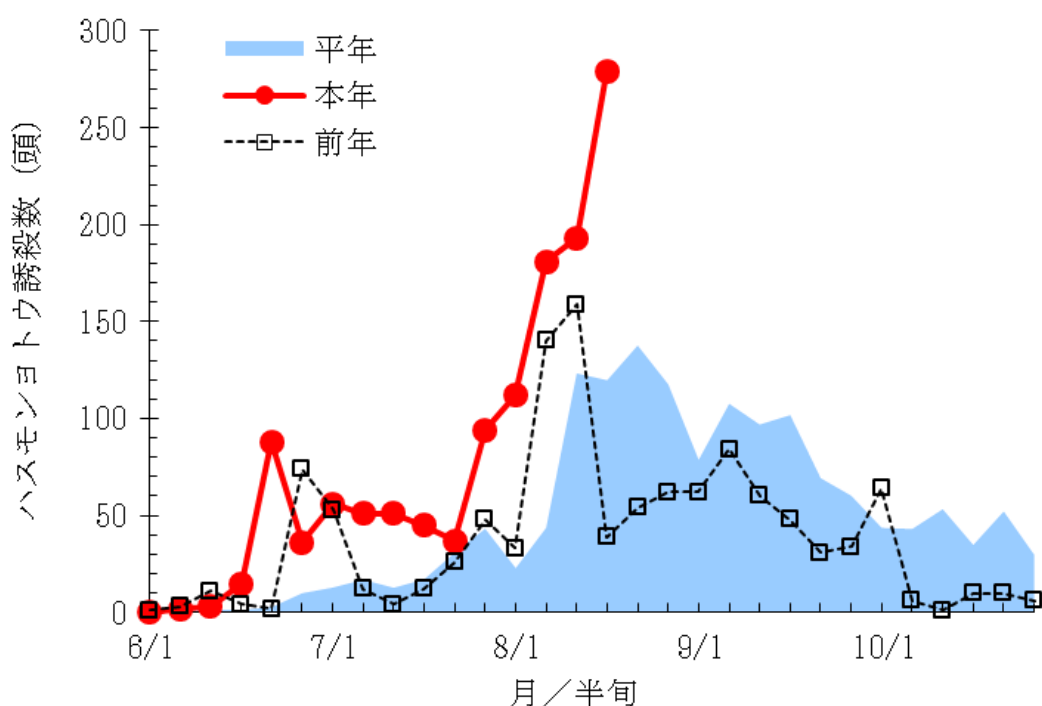


図1 山県郡北広島町のフェロモントラップにおけるハスモンヨトウ誘殺数の推移

5 防除上の注意事項

- (1) 幼虫の発生量は立地条件やこれまでの防除により大きく異なるため、必ずほ場での発生状況を確認する。卵塊は葉の裏側に認められるが、アスパラガスでは擬葉が重なり合って見つけにくいので、よく確認する。また、支柱やビニールなどに産卵することもあるので注意する。なお、幼虫の発生を確認したら直ちに防除する。
- (2) 平年に比べ気温が高く推移しており、ハスモンヨトウの発生の長期化が懸念されるため、定期的にはほ場を観察するとともに、1度の防除で発生を抑制できない場合は、複数回の防除を行う。
- (3) 卵塊(図2)を認めたら、除去して潰す。また、大豆やなすでは、白変葉(※)を認めたら若齢幼虫(図3)を含めて葉ごと除去し、ほ場外で殺処分する。
※白変葉:若齢幼虫が、葉の表皮を残して食害することにより、白く透けて見える葉(図5)
- (4) 幼虫は成長するにしたがい、移動・分散し被害がほ場全体へ拡大していくため、幼虫がほ場全体へ移動・分散する前に防除を行う。また、防除は若齢幼虫期に行うと効果が高い。
- (5) ぶどうでは収穫前のみならず、収穫後の葉にも発生することがあるので、落葉期まで幼虫の発生に注意し、発生を認めたら適切に防除する。
- (6) 薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤を使用する。
- (7) 薬剤散布については、農薬使用基準(使用濃度、使用回数、収穫前使用日数等)を遵守するとともに、周辺作物への飛散防止対策を徹底する。
- (8) 最新の農薬情報は、農林水産省ホームページ「農薬コーナー」の「農薬登録情報提供システム(<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm001.html>)」を参照する。



図2 葉裏の卵塊



図3 若齢幼虫の集団加害
(葉裏)



図4 老齢幼虫(約4cm、
薬剤が効きにくい)



図5 若中齢幼虫の加害による白変葉(左:キャベツ、右:大豆)

- 市町は、この情報を生産団体等関係者へ伝達のこと。
- 詳細は、農業技術課(082-513-3585)、西部農業技術指導所(082-420-9662)、県立総合技術研究所農業技術センター生産環境研究部(082-429-2590)へ問い合わせること。
- この情報は、広島県ホームページ内の植物防疫チーム(病害虫防除所)(<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/198/syokubou-t.html>)に掲載している。

水稲病害虫発生予察情報の地帯区分

地帯区分	該 当 市 町
南 部	広島市中区，広島市東区，広島市南区，広島市西区 広島市安佐南区（沼田町，伴東，伴南，伴西，伴北，大塚西，大塚東を除く） 広島市安佐北区（狩留家町，上深川町，深川町，深川，小河原町，倉掛，亀崎，真 亀，落合町，落合南町，口田町，口田南町，口田，口田南） 広島市安芸区（阿戸町を除く） 広島市佐伯区（湯来町，杉並台を除く） 大竹市 廿日市市（玖島，永原，峠，友田，河津原，津田，浅原，虫所山，飯山，中道， 栗栖，吉和を除く） 府中町，海田町，熊野町，坂町 呉市，竹原市，江田島市 東広島市安芸津町 大崎上島町 三原市（久井町，大和町を除く） 尾道市 福山市 府中市（上下町を除く）
中東部	三原市久井町 世羅町 府中市上下町 神石高原町 三次市（君田町，布野町，作木町を除く） 庄原市（西城町，東城町，口和町，高野町，比和町を除く）
中西部	広島市安佐南区（沼田町，伴東，伴南，伴西，伴北，大塚西，大塚東） 広島市安佐北区（狩留家町，上深川町，深川町，深川，小河原町，倉掛，亀崎， 真亀，落合町，落合南町口田町，口田南町，口田，口田南を除く） 広島市安芸区阿戸町 広島市佐伯区（湯来町，杉並台） 廿日市市（玖島，永原，峠，友田，河津原，津田，浅原，虫所山，飯山，中道， 栗栖） 安芸高田市（美土里町，高宮町を除く） 安芸太田町（穴，坪野，津浪，加計，下筒賀，下殿河内，観音，上筒賀，中筒賀） 東広島市（安芸津町を除く） 三原市大和町
北 部	廿日市市吉和 安芸高田市（美土里町，高宮町） 安芸太田町（穴，坪野，津浪，加計，下筒賀，下殿河内，観音，上筒賀， 中筒賀を除く） 北広島町 三次市（君田町，布野町，作木町） 庄原市（西城町，東城町，口和町，高野町，比和町）